

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	040202020	予算コード	01009400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	自転車等駐車場運営事業			正規職員数 0.5	国庫支出金 0	有効性	A	平成29年度より指定管理者制に移行した。			
担当課	道路公園課			嘱託職員数 0	府支出金 0	効率性	C				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0.5	市債 0						
	■条例・規則			歳出(千円)	その他 104,770	妥当性	A				
	泉佐野市自転車等駐車場の設置及び使用に関する条例 同条例施行規則			人件費総額 4,853	一般財源 -19,783						
					減価償却費 0	受益者負担	A				
				事業費 80,134							
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	84,987	緊急性	A			事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	845	公的関与	C			現鶴原第2駐輪場が老朽化のため、南海鶴原駅海側に新鶴原第2駐輪場を移転する。平成28年4月オープン。平成30年8月、ホテル建設にともない、りんくう自転車置場が移転した。	
対象	活動指標			H30実績							
不特定の市民	対象数			市営自転車置場設置数	9.0	実施主体・委託化	C				
自転車・原動機付自転車利用者				市営自転車置場設置数	0.0						
事業の内容	市営自転車置場収容台数			5,409.0	他の事務事業との関連	C					
市内6駅9箇所に市営自転車置場を設置し、民間業者に委託して自転車置場の運営を行い、自転車等利用者の利便及び交通の安全と円滑化を図る。											
			成果指標	H30実績	透明性	B					
			自転車・原付 1日利用台数(台)	299.5	財政健全化計画	該当なし					
			自転車・原付 月間利用1日当たり台数(台)	3,688.0							
			自転車置場利用稼働率(%)	74.0	財政健全化の取組	該当なし					
			撤去自転車台数(台)	318.0							
			コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし					
事業の目的	1日当たり自転車置場運営に係るコスト(円)			283,290.0							
良好な都市環境の確保と交通の円滑化を図るため、駅周辺の自転車等利用者の駐車場を設置、運営・管理を行い、自転車等の放置を徹底的に防止する。	1日当たり自転車置場売上(円)			309,374.9							